



地域の話題

田原中部校区 絆を深める取り組み

田原市街地に位置し、「歴史・文化・伝統」の発信を目標に地域づくりを進めている田原中部校区コミュニティ協議会から、力を入れている活動についてお便りが届きました。



点をつなぐ「ウォーキングトレイル」があります。そこで、その案内板を利用した「スポーツ健康講座・みんなでウォーキングをしませんか」を1月に開催しました。約50名の参加者は、市の職員から歩く際のフォームや注意点を学び、距離2・8kmの「中部満喫コース」を歩きました。心地よい汗を流したあとは、甘酒で心も体も温まりました。



▲案内板

地域で学ぶ「教育講演会」

毎年さまざまなテーマで開催しているこの講演会。今回は、豊橋調理製菓専門学校長の鈴木良昌氏を講師にお迎えし、「東三河の食環境今昔」についてお話しいただきました。参加者からは「食育の大切さを実感した」「地元の食材をしっかりと味わう食環境が重要」といった感想が聞かれ、日常の食生活を見直す良い機会となったようです。

このように、今後もさまざまな活動を通して、校区の絆を深め、暮らしやすい地域の実現を目指していきます。



▲田原祭り(昼山車のそらい踏み)



▲教育講演会

田原中部校区では、まちづくり推進計画に基づき、さまざまな行事や課題解決の取り組みを行っています。本校区の代表的な行事といえば、城下町の伝統文化を今に伝える「田原祭り」がありますが、今回は祭り以外の取り組みについてご紹介します。

アルゼンチンアリの根絶を!

「アルゼンチンアリ」は、校区外の皆さんにはあまりなじみのない名前かと思えます。このアリは、もとも日本には生息しない特定外来生物です。住宅に侵入して食べ物に群がったり、日本固有のアリたちを攻撃して地域の生態系を壊したりするなどの被害をもたらします。

現在、田原市街地を中心にこのア

リの大量発生が確認されているため、進入した区域を対象に、平成21年度から薬剤を使った一斉防除を行っています。こうした取り組みの成果で、生息区域から他地域への広がりは押さえられつつありますが、残念ながら、未だ駆除には至っていません。本校区としては、生息する区域だけの問題とせず、校区全体の課題として、これ以上生息範囲を広げず、アルゼンチンアリの根絶を目指し、活動を継続していく予定です。



▲薬剤の設置風景

いい汗! 「スポーツ健康講座」

校区内には、多くの歴史文化の拠